

主語 「私は」

客語(節) 「猿の啼くのを」

主語 「猿の」

述語 「啼く」

述語 「聞いて」

副詞的修飾語 「山路で」

副詞的修飾語 「大層」

例二、一つの舟が風の荒れ、浪の騒ぐ海を漂つて居る。

主語 「舟が」

形容的修飾語 「一つの」

客語 「海を」

形容的修飾語(合文) 「風の荒れ浪の騒ぐ」

獨立節第一 「風の荒れ」

主語 「風の」

述語 「荒れ」

獨立節第二 「浪の騒ぐ」

主語 「浪の」

述語 「騒ぐ」

述語 「漂つて居る」

例三、月も盈ちれば虧けるし、人も奢れば衰へる。

獨立節第一(複文) 「月も盈ちれば虧けるし」

主語 「月も」

述語 「虧ける」

副詞的修飾語(節) 「月も盈ちれば」

主語 「月も」

述語 「盈ちれ」

獨立節第二(複文) 「人も奢れば衰へる」

主語 「人も」

述語 「衰へる」

副詞的修飾語節 「人も奢れば」

主語 「人も」

述語 「奢れ」

第七章 呼 應

呼應 文を構成する成分の中には、其の語句の性質又は之に附いた助詞の性質から、其の意義が述語に及んで、之に特別の意趣を起させるものがある。之を呼應といふ。呼應を副詞的修飾語と述語との呼應及び副詞節と述語との呼應の二つに分ける。

第一節 副詞的修飾語と述語との呼應

副詞的修飾語の中には、述語に否定・禁止・疑問・反語・推量又は願望等種々の意趣を起させるものがある。例へば次の通である。

一、述語に否定の意趣を起させるもの。

さらさら存じませぬ。

一向分らない。

まるで見當が付かない。

決してまゐりませぬ。

すこしも恐れる氣色が無い。

ちつとも面白くない。

よもやそんなことはいふまい。

まさか間違はあるまい。

「ほか」「しか」「きり」「ぎり」といふ第二類の助詞の附いたものも、述語に否定の意趣を起させる。

これほか残らぬ。

ほん物としか思へない。

去年會つたきりまだ會はぬ。

二、述語に禁止の意趣を起させるもの。

決して人に言ふな。

三、述語に疑問の意趣を起させるもの。

だれが言つたのでせう。

いつあれに會ひましたか。

どこに行つたものだらう。

どう處置しよう。

どうして返事が來ないのだらう。

なせこんなに寒いだらう。

四、述語に反語の意趣を起させるもの。

どうしてあれにかなふものか。

なんで此の儘に済まされよう。

五、述語に推量の意趣を起させるもの。

どんなに案じてゐることとせう。

多分あすは晴れるとせう。

さぞお喜びでございませう。

六、願望の意趣を起させるもの。

どうぞお聞き入れ下さい。

どうか此の望を叶へて下さい。

七、假定の意趣を起させるもの。

もし雨が降つたら、中止する。

よしんば嵐が吹きましても、屹度船は出します。

萬一負けるやうな事がありましても、見苦しい振舞はいたしません。

第二節 副詞節と述語との呼應

副詞節に「ば」「なら」「ものなら」といふ第四類の助詞が附いて、事柄を假定するものは、述語が其の事柄に順應した未然の事柄(推量命令禁止など)を豫定していひ、又は既然の事柄の如く断定していふ。

一、未然の事柄を豫定していふもの。

君が行けば僕も行かう。

柄が長ければ切らう。

取れるものなら取つて見る。

二、未然の事柄を断定していふもの。

雨が降れば順延する。

行かうと思ふなら、行つてもよい。

副詞節に「ば」「から」「ので」といふ第四類の助詞が附いて、或事柄が他の事柄の原因となる意を示すものは、述語が其の事柄に順應した既然の事柄を断定していひ、又は未然の事柄を豫定していふ。

一、既然の事柄を断定していふもの。

金があればこそ贅澤が出来るのだ。

氣だてが善いから人に愛される。

暑いので、仕事が出来ない。

二、未然の事柄を豫定していふもの。

風が吹くから、船は出ますまい。

値段が高いので、まだ買はずにゐるだらう。

副詞節に「ば」「から」「ので」といふ第四類の助詞が附いて、事柄を既定の如く假定したものは、

述語が其の事柄に順應した未然の事柄を既然の事柄の如く断定していふ。

春が来れば、花がさく。

運動すると、食欲がすすむ。

副詞節に「ても」「も」「と」「とも」といふ第四類の助詞が付いて事柄を假定するものは、述語が其の事柄に背反した未然の事柄を豫定していひ、又は未然の事柄を既然の事柄の如く断定していふ。

一、未然の事柄を豫定していふもの。

呼んでも、来まい。

今は穏やかでも、やがて荒れ出すだらう。

何といはれようとだまつて居れ。

二、未然の事柄を既定の事柄の如く断定していふもの。

死んでも御恩は忘れませぬ。

顔は鬼でも、心は佛だ。

何が来ようと、恐れぬ。

副詞節に「けれど」「けれども」「に」「の」「に」ところが「もの」といふ第四類の助詞が付いて、或事柄が他の事柄と背反する意を示すものは、其の事柄に背反した既然の事柄を断定していひ、又は未然の事柄を豫定していふ。

一、既然の事柄を断定していふもの。

あなたはさう仰しやるけれども、事實は違ひます。

財産もないのに贅澤をする。

行つて見たところが、似も付かぬものだった。

恢復は覺束ないものの、まだ此の世が思ひ切れぬ。

二、未然の事柄を豫定していふもの。

気分は悪いけれども、出席しよう。

早く来ればよいに、なせ来ないだらう。

問題はむづかしさうだが、考へたら解るだらう。

来は来たものの、會つてはくれまい。

【書圖洋東は書育教】

版三	版五	版三	版三	版三	版五	版八	版五
サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六
サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六	サイエンス 教授 佐藤良一先生著(菊) 送料 〇・三六

御社の絶えざる努力に感謝す (福島・岡本大書)……讀者の聲

七

東大 東洋書株式會社發行

東京市神田區表神保町一丁目・番七三〇一
大阪市南區安堂寺一丁目・番八二五九三

【書育教の書圖洋東】

版八	版五	版三	版五	版三	版五	版三	版五
高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六
高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六	高等國文法講義 教授 木枝増一先生著(菊) 送料 〇・三六

本校圖書の90%は貴社の書物です (大阪・乾信次)……讀者の聲

六

東大 東洋書株式會社發行

東京市神田區表神保町一丁目・番七三〇一
大阪市南區安堂寺一丁目・番八二五九三

【書育教の書圖洋東】

<p>遺傳講話</p> <p>奈良女高師 桑野久任先生著 (菊) 定價 〇・三六</p>	<p>再版</p> <p>東京女高師教授 内藤智秀先生著 (菊) 送料 〇・二六</p> <p>最近に於ける 歐米國際關係</p>	<p>新刊</p> <p>神戸高等商船 西川孝次郎先生著 (菊) 定價 〇・三六</p> <p>材料強弱學</p>	<p>五版</p> <p>東京高等工業講義部 佐藤富治先生著 (菊) 定價 〇・三六</p> <p>工場管理學</p>	<p>最新刊</p> <p>奈良女高師 清水與三郎先生著 (菊) 送料 〇・三六</p> <p>實驗論 高等化學講義 下卷</p>	<p>三版</p> <p>奈良女高師 清水與三郎先生著 (菊) 送料 〇・三六</p> <p>實驗論 高等化學講義 中卷</p>	<p>三版</p> <p>奈良女高師 清水與三郎先生著 (菊) 送料 〇・三六</p> <p>實驗論 高等化學講義 上卷</p>	<p>三版</p> <p>愛知大教授 出射 榮先生著 (菊) 送料 〇・三六</p> <p>高等物理學講義</p>
<p>□ 最新の高等物理學を最も要領よく而も新しき各種専門學校の物理學のテキストを目標にし、抑最も精密にして且多數。</p>	<p>□ 本書は化學主任教授の著者が多年の経験に基き蘊蓄を傾倒せられし千五百余頁の大著にて學びし復習事項(一)中等教育程度度の新事項に分ち詳述さる。</p> <p>□ 實驗を重視す——高等化學として既知の事項と實驗の上に新事項を積みたる類例なき良書。</p> <p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p>	<p>□ 本書は著者が實際に各方面の工場管理法を指導されたる多年の體験的著述である。</p> <p>□ 内容最も精細且親切平易を旨とし學生無二の良參考書、且一般工場經營者の好伴侶。</p> <p>□ 本書は説明圖を多く加へ記述を簡明にし、理の教科書又は參考書に最適である。</p> <p>□ 最近五ヶ年(一九二七—一九三二)の歐米國際關係を詳述、東京女高師、各大學にて使用、關係を尅大の一書にも盡し得ぬ問題を簡單に説かせる。學生教師、受驗者の必讀の良書に説か</p>	<p>□ 本書は説明圖を多く加へ記述を簡明にし、理の教科書又は參考書に最適である。</p> <p>□ 最近五ヶ年(一九二七—一九三二)の歐米國際關係を詳述、東京女高師、各大學にて使用、關係を尅大の一書にも盡し得ぬ問題を簡單に説かせる。學生教師、受驗者の必讀の良書に説か</p>	<p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p> <p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p>	<p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p> <p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p>	<p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p> <p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p>	<p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p> <p>□ 著者が海軍教授女高師教授としての體験記、高等諸學校教科書文檢參考書に最適の新書</p>

貴社の書物により教育能率の向上せしを感謝す (三重・村山尚)……讀者の聲

東大 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區表保町一〇番地・電話一〇三〇七番
大阪市南區安堂寺町一丁目二八番・電話三九三五番

27
262

終

